

# 研究実施のお知らせ

2024年12月10日 ver.1.0

## 研究課題名

島根大学医学部附属病院における肝細胞癌に対する薬物治療の現状に関する検討

## 研究の対象となる方

2020年12月24日から2024年11月の間に島根大学医学部附属病院（以下：当院）で

- ・アテゾリズマブ+ベバシズマブ治療（Atezo+Beva 治療）を受けられた方
- ・トレメリムマブ+デュルバルマブ治療（Treme+Durva 治療）をうけられた方
- ・肝動脈化学塞栓療法を施行する際にレンバチニブを併用（LEN+TACE 療法）された方

## 研究の目的・意義

切除不能肝細胞癌に対しては、Atezo+Beva 治療あるいは Treme+Durva 治療が第一選択の治療として推奨されています（日本肝臓学会ホームページ、肝細胞癌薬物療法のアプローチより）。また、肝細胞癌に対して、肝動脈化学塞栓療法を施行する際に、レンバチニブを併用（LEN+TACE 療法）することで治療効果が増加することが報告されています。

上記の治療を当院で受けられた方についてデータをまとめ、肝細胞癌に対する薬物治療の現状を評価することとしました。

当院における肝細胞癌に対する薬物治療の現状を評価することによって、今後の治療指針に生かすことができると考えます。

## 研究の方法

電子カルテより、下記の情報について収集します。

背景肝疾患、糖尿病合併の有無、BCLC ステージ、ALBI スコア、Child-Pugh スコア、前治療歴、全生存期間、無増悪生存期間、最良効果の評価、副作用。

BCLC ステージは肝細胞癌のステージ分類、ALBI スコアと Child-Pugh スコアは肝予備能の評価のため収集します。

カルテに保存されている画像による治療期間中の最良の客観的腫瘍縮小効果を最良効果として評価します。

収集したデータは、島根大学医学部内科学講座第二内の外部から容易にアクセスできないパソコン（以下：PC）に保管します。PC にはセキュリティを設定し、パスワード

ードで使用可能な研究者を制限します。研究対象者リストはデータとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管します。外部への持ち出しは行いません。

研究に関するデータ及び関連資料（研究に関する手続き資料を含む）は、研究結果の最終報告を行ってから 10 年間は保管し、その後保管の必要性がなくなった時点で研究対象者の識別が不可能な状態で廃棄（消去）します。

## 研究の期間

2025 年 1 月 19 日～2025 年 12 月

## 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

## 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 肝臓内科 飛田 博史

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025 年 7 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院肝臓内科 とびた ひろし  
飛田 博史

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2190 FAX 0853-20-2187